

令和4年度 学校評価シート

江津市立江津東小学校

方針	目標	指導の重点	具体的方策 等	評価			振り返り 来年度に向けての方策等	学校関係者評価	
				職員	児童	保護者			
児童・保護者・職員・地域の期待に応える教育の推進	豊かな心の育成 「やさしく」	ひとにやさしく自分も友だちも大切にできる子を育てる	人権・同和教育の推進	・教職員の研修(進路保障の取組・人権感覚の高揚)を行う。 ・便り等による保護者への啓発を行う。 ・教育活動全体における人権・同和教育の視点を明確にする。 ・「いじめ防止基本方針」の徹底を図る。	A	A	A	◆教職員研修の計画的な実施 ◆人権集会を参加型に少しずつ変えていく。	子どもたちが落ち着いて授業に取り組んでいる様子が見られた。 街中で子どもに出会うことが少ないが、出会えばしっかりあいさつをしてくれている。 SNSでのつながりが広がっている。正しい使い方や関わり方の指導を継続してほしい。
			自尊感情の育成	・達成感・成就感を味わわせる教育活動の展開を図る。 ・子どもに寄り添い、自己決定させていく指導・支援を行う。 ・スモールステップを踏んだ指導を取り入れ、実践する。	A	A	A		
			生徒指導の充実	・積極的生徒指導に心がけ、自己指導能力の育成を図る。 ・教育相談の充実を図る。 ・情報共有に努め、組織的に対応する。	A	A	A		
			温かい学級づくり	・学級への貢献度を育てる場を設定する。 ・伝え合いを意識した授業や活動を積極的に取り入れる。 ・学級経営についての情報交換を行う。 ・学級づくりについての研修を実施する。	A	A	A		
			道徳教育の推進	・特別の教科「道徳」の授業の充実を図る。 わらいを明確にした授業の展開と指導と評価の工夫・改善資料や題材の工夫と活用 日常生活との関連 ・教育活動全体での道徳教育の推進を図る。	B	A	A		
			特別支援教育の充実	・学校全体で支える風土を醸成する取組を推進する。 ・ユニバーサルデザインによる授業づくりに努める。 ・校内支援体制の充実を図る。 ・個別の指導計画、支援計画を作成し、指導・支援に活かす。	A	A	A		
児童・保護者・職員・地域の期待に応える教育の推進	確かな学力の育成 「かしこく」	自分の考えをもち友だちと関わり学ぼう子を育てる	基礎的・基本的な知識・技能の定着	・繰り返し学習や補充学習の充実を図る。 朝学習の有効活用 家庭学習との関連強化 東っ子チャレンジ会の活用 ・個に応じたきめ細やかな指導を実施する。	A	A	A	◆朝学習タイムの効果的な活用。(学習内容の共有等) ◆東っ子チャレンジ範囲表の活用の継続。 ◆家庭学習の活用。 →書く活動を日常化させていく。(作文等) →自学のやり方を示す。 →チェック票の活用。 ◆授業改善の推進。(ノートや板書の工夫の情報共有等) ◆学校での読書の様子を保護者の方にも知ってもらおう。(読書カードの持ち帰り) ◆家庭で読書ができるように定期的に持ち帰る。(1~2冊)	タブレットを使用した学習が展開されていてよい。今後さらに必要となっていくので、積極的に進めてほしい。
			主体的・協働的な学びのある授業実践	・わかる授業のための授業改善を図る。 ・自己表出させる授業を工夫する。 話し合い活動を取り入れる。	A	A	A		
			家庭学習の定着	・「家庭学習のてびき」の活用と励行に取り組む。 ・家庭学習の習慣化へ向けた取組を充実させる。 学年×10分の励行 自学強化に向けた取組 保護者への啓発	B	A	B		
			読書活動の推進	・学校図書館を活用した授業の展開を工夫する。 ・読書活動を推進する。 ・読書タイムを設定したり、読み聞かせを実施したりする。	A	A	B		
			自己実現に向けた支援の充実	・キャリア教育を推進する。 出会った人の思いに触れ、自己の生き方を学ぶ学習の展開(総合的な学習、生活科、特別活動等)	B	A	B		
児童・保護者・職員・地域の期待に応える教育の推進	健やかな体の育成 「たくましく」	目標達成に向けてがんばる元気な子を育てる	基本的な生活習慣の定着	・あいさつ、返事、はきものそろえの指導を徹底する。 児童会活動による継続的取組の工夫 家庭・地域と連携した継続的取組の工夫 ・望ましい生活習慣や健康管理能力を育成する。 ・ノーメディア、アウトメディアの取組を充実させる。	A	A	B	◆メディア教育講演会を実施したが、参加者が少ない。参加率を上げる工夫をしたい。 ◆PTA保体部でメディアコントロールの取り組みを実施した。各家庭での取組状況を把握していきたい。 ◆学校では休憩時間に外遊びをしっかりとしている。家庭での外遊びについては、場所があるのか等の状況把握から進めたい。	メディアの制限や時間管理など、各家庭での指導になるので、学校が入り込めないところではあるが、PTAの活動や講演会などでの啓発を続けてほしい。
			体力向上プランの推進	・教科体育の充実を図る。 運動の質と量の向上にむけた授業づくり 体力テストの結果を踏まえた運動内容の工夫 ・運動の日常化を図る。 なわとび等の実施、戸外遊びの奨励 ・課外活動を実施する。	A	A	B		
			食育の推進	・日常給食指導の充実を図る。 ・食に関する指導を推進する。 栄養教諭による食の学習	A	A	A		
			安全・防災教育の推進	・交通安全指導を徹底する。 ・防災、減災にむけた行動を育成する。 避難訓練の計画的な実施	A	A	A		
			なかよし班活動の充実	・異学年交流で、交流する場を計画的に作る。 ・感情交流の場面を意図的に作る。	B		A		
			地域の特徴を生かした教育活動の推進	・ふるさと教育を推進する。 地域のこと、もの、ひとを活かした教育活動の推進 継続的な取組と発信	B	A	A		
児童・保護者・職員・地域の期待に応える教育の推進	開かれた学校づくり	家庭及び地域(関係機関)との連携に努め、開かれた学校づくりの推進を目指す	積極的な学校公開	・東っ子を語る会を実施する。 ・各種学校行事や授業公開日を実施する。 ・各種便りの発行やホームページによる情報提供を行う。	A		A	◆少しずつ地域に出かけていく活動が増えてきた。 ◆ホームページの活用をさらに進めたい。 ◆保小連携 5年総合との関連を図り、成果を得ることができた。 ◆小中連携 研修会や授業公開を行った。 ◆保護者負担の軽減を図る。(個人持ちの物品を学校用として購入する等)	土日に校庭などで外遊びする子どもを見る機会がない。地域や児童クラブ等と連携したイベントの開催など、小規模だからこそできる活動を地道に続けて、子どもたちにとっての学びの場づくりを進めてほしい。 メディアに関する課題は、どの年代でも共通しているので、保小中の連携をさらに強めて取り組んでほしい。
			保・小・中の連携	・こども園、中学校との連絡会、一日入学等を実施する。 ・授業を公開する場を設け、子ども理解を進める。 ・連携担当者による情報交換を計画的に行う。	A		A		
			各種便りの発行と授業公開	・学校便り、学級だよりの定期的・意図的に発行する。 ・授業公開、学級懇談会、個人懇談等を実施する。	A		A		
			学校教育予算の効率的な執行と教育条件の整備	・優先順位を配慮した計画的な予算執行に努める。 ・働き方改革に向けた職場環境の整備に努める。	A		A		
			学校評価の実施	・児童、保護者、職員のアンケートを実施し、評価・改善を図る。 ・学校評価委員会を定期的に開催する。	A		A		